

インタビューの
記録から

学校として全職員が
同じライン上にいる必
要があると思います。
そのためにも、まめに
声を掛けることを面倒
に思わないようにして
います。

できるだけ早い段階
で提案資料を出すと、
提案前に様々な質問を
受けることができま
す。提案前にある程度、
共通理解をしてもらえ
るし、職員のだいたいの
希望や動向も把握す
ることができます。その
ためにも事前に資料
を読んでもらう工夫も
必要だと思えます。

話し合いをビジュアル
化することも大切だ
と思えます。話し合いを進
める度に意見を書き込
んでいくので、全員の
目がホワイトボードに
向きます。話し合いがど
こまで進み、どの方向
へ進むのかが分かりま
す。また、進めるべき
活動も見えてきます。
話し合いの焦点化や共通
理解が図れるよい方法
だと思えます。

職員全員と共通理解を図りたい

そこで

職員間のかかわりを意識したり、授業研究会や提
案の仕方を工夫したりしましょう。

たとえば

研修主任のち
よっとした工夫
や少しの意識改
革で、職員全員
の共通理解が図
れることがあり
ます。



共通理解

職員間のかかわりを意識する

- ・職員室の後ろの大きなテーブルが、職員の情報交換の場所になっていて、時には学年に会って割り込んで、研修内容について、理解を深めてもらっています。
- ・研修内容に対して意見が対立しがちな職員には、提案前に特に積極的に声を掛けるようにしています。
- ・校長先生や教頭先生、教務主任や専門的な分野に詳しい先生には、計画段階から相談しています。

提案の仕方を工夫する

- ・いつも皆さんが分かりやすい提案資料を作るようにしています。
- ・できるだけ早い段階で提案資料を出すようにしています。
- ・提案資料には必要性、利点、課題をはっきり載せ、提案そのものを納得してもらおうようにしています。
- ・研修内容をなかなか理解してもらえない時は、分りやすい表現に作り直し、再度、提案するようになっています。また、理解が難しいところも、時間をかけて提案したこともあり、時間がかかりました。

授業研究会を工夫する

- ・授業研究会では必ずホワイトボード（黒板）を用意し、話し合った内容がすぐに確認できるようにしています。
- ・必ず小グループで話し合ってから、全体会で話し合うようにしています。
- ・実際に児童のノートを話し合いの場にも用意して検討したことがあります。具体物があると共通理解しやすいですね。
- ・自分で提案する前に「学び合い」について低・中・高学年で話し合いをしてもらいました。KJ法等でまとめていく作業を通して、自分が提案するより共通理解が図れました。

教頭

教務主任

学年主任

研修主任